

交換留学（派遣）帰国報告書

.....

留学先大学 : Université Paris Diderot (Paris 7)
留学先での所属学部・研究科 : Master Cinéma, documentaire, médias
留学先での在籍身分 : 修士課程
留学期間 : 2017 年 2 月 ~ 2017 年 5 月
神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学研究科 博士後期課程
学年（出発時） : 1 年
本報告書記入日 : 2017 年 6 月 6 日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日 : 9 月 1 日

学年終了月日 : 7 月 1 日

学期 :

① 9 月 5 日 ~ 12 月 17 日

② 1 月 16 日 ~ 5 月 27 日

③ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

④ ____ 月 ____ 日 ~ ____ 月 ____ 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

理学、医学、言語、文学、芸術

1-3. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート :

留学生向け語学講座あり

勉学面でのサポート :

特になし

精神面でのサポート :

特になし

住居・生活面でのサポート：

住居・寮などの斡旋

課外活動のサポート：

特になし

1-4. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

 はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気をつけること等)

入居する際の事務手続きが煩雑な場合が多く、大学のステュディオの場合は場所の離れた2か所の事務局で手続きを行った。手続きがスムーズにいけばよいが、そうでない場合、当日に入居できない可能性も考慮しておく必要がある。また、大学のステュディオのベッドにはマットレスのみしかなく、掛布団やシーツ等は自分で購入する必要があった。さらに、フランスでは土足入室かつ空気が乾燥しているため室内は埃っぽく衛生状態的にも万全ではない。鍵の使い方、暖房器具や電気コシロの使い方等、日本とは勝手が違うので入居時に担当者に確認しておいた方が無難である。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

神戸大学指定の保険に加入した。ただし、入居先によってはこの保険に含まれていない住居火災（盗難）保険の加入・提示を求められるところもあるため、注意が必要。

また、上記以外で加入した保険があれば、ご記入ください。（留学先の国・大学が義務付けている保険等）
なし

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

ネット接続は、ステュディオ内で使えるWifiだったが、通信速度が遅く、接続が不安定だった。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

使用していない。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

いいえ

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

パリは水道水は普通に飲めるが、石灰が多いので気になればミネラルウォーターの購入をおススメする。薬は日本から飲み慣れた常備薬を持参したほうがよい。

3-4. 銀行口座等について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。
(現地で口座開設、キャッシュレスポート利用等)

いくつかのクレジットカードを持参した（カードによってはATM引き出し不可のものもあるため、事前確認を忘れずに）。現地で滞在許可証を申請する6か月以上の滞在の場合は、現地で口座を開く必要がある。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

日曜日はスーパー等多くの商店が閉まっている。また祝祭日やラマダン月等、キリスト教、イスラム教徒の習慣にも注意する必要がある。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

私の場合は、留学の主な目的が博士論文のための調査研究だったため、その必要に応じて専門家とコンタクトをとった。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

いいえ

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

パリはテロだけでなく軽犯罪が多く、安全な町とはいえない。外出する際は、お金だけでなくスマートフォン等の管理にも注意する必要がある。通話・操作中にスマートフォンをひったくられるケースも少なくない。また、街中で話しかけてくる人には要注意。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

いいえ

4. 経費について

4-1. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名) JASSO _____, 10万 _____ 円／月
その他（渡航費等の支給）_____ 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

パリの観光案内所に行けば、無料で町の地図や博物館案内、安全対策案内が手に入る所以、行くことをおススメする。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

常備薬。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(80) 点 → 帰国後 (80) 点

私の場合は、すでにフランス語圏に通算3年ほど滞在してフランス語を会得しているため、日常会話には困らなかった。シネマテーク・フランセーズ等現地の専門機関でじっくり調査ができたため、博士論文の研究には大いに役立ち、見識も拡がった。

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

入居手続きで、2か所目の事務局へ行くとき、1か所目の事務局で教えられた建物内に入るパスワードが間違っていて入れなかった。ただし、この2か所目の事務局は学生寮内にあったため、学生が出入りするときに一緒に建物内に入ることができた。ただし、事務局の開始時間から1時間半ほど遅れて担当者が勤し、長時間待たされることになった。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

はい

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。フランス語の語学力があまりない場合は大変なことも多いとは思うが、日本では得られない多くの経験ができると思うため。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 2
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 3
- ・全体として留学に係る費用は安かつたと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 4

留学先大学 : Université Paris Diderot (Paris 7)

留学先での所属学部・研究科 : Master Cinéma. documentaire, médias

留学先での在籍身分 : 修士課程

留学期間 : 2017 年 2 月 ~ 2017 年 5 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学研究科 博士後期課程

学年（出発時） : 1 年

本報告書記入日 : 2017 年 6 月 6 日

授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ていい る 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含 めて教えてください。
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

いくつかの授業を聴講はしたが、履修はしていない。

費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

・航空運賃 : 往復 12 万円

・住居費 : (月額) 374ユーロ × (留学月数) 4 ヶ月 = 1496ユーロ

・食費 : (月額) _____ × (留学月数) _____ ヶ月 = _____

・保険料 : 3 万円

・その他 : _____

合計 : _____ (留学期間全体の費用)

その他　自由に記入してください。(800字～)

今回はじめて大学間の交換留学生として留学させていただきましたが、運よく比較的安価で大学からも近い大学寮に入居させていただくことができ、またパリ・ディドロ大学の留学生課の方々や先生方も親切な方たちだったおかげで、博士論文の研究調査を含めた勉強に集中することができ、とても感謝しております。ありがとうございました。

日本へ帰ってきて一番に感じることは、日本ほど治安のよい国はないということです。パリはいつどこで、軽犯罪やテロなどに巻き込まれてもおかしくないので、一歩外に出るとときは無意識に体が緊張します。しかし、その緊張感を持つことで何事もなく無事に返ってくることができたのだと思います。

そしてそれと同時にパリは、様々な人種や文化が混ざりあう豊かな多様性を持った街です。博物館は大小含めて様々なものがあり、それらに足を運ぶだけでもパリに集まる文化人たちが体感し、築き上げてきたものを追体験することができました。緊張感を持ちつつ、様々な方向にアンテナを張れば、必ず何かをキャッチできる・・・といったエキサイティングな知的体験をこの3か月でさせていただきました。